

横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs” 第4回Y-SDGs金融タスクフォース

2022年6月

ヨコハマSDGsデザインセンター



Y-SDGs関連の動向共有

令和4年度の本タスクフォースの活動

質疑応答・意見交換

- ✓ R4年3月末時点で、第6回認証が終了し、現在は第7回認証に向け、企業ヒアリングを実施している段階である。
- ✓ 第1回～6回までの認証事業者数は354件となった。
- ✓ 認証取得者の約4割が建設業である。
- ✓ ランクアップ件数の増加は、認証取得者のSDGsの取組みの向上とも考えられる

ランク	取得者数	割合
最上位 Supreme	17 (うちランクアップ3)	4.8%
上位 Superior	99 (うちランクアップ22)	28.0%
標準 Standard	264 (うち再取得1)	74.6%

- ✓ 認証事業者に対し提供しているインセンティブの内容は下記のとおり。
- ✓ これまでも対象範囲の拡大、インセンティブの内容の充実を進めてきた。

1) 認証マークのHPなどでの使用

2) 事業者名や取組内容を、横浜市やデザインセンターのHPでご紹介

3) デザインセンターが主催するイベント・セミナー等に優先的にご案内
☆認証事業者交流会の開催を検討中

4) 横浜市総合評価落札方式での評価
☆令和4年4月より、「標準」区分も対象に追加

5) SDGsよこはま資金（中小企業融資制度）の利用
☆令和4年4月より、「標準」区分も対象に追加

6) 三井住友海上・MS&ADインターリスク総研からのサポートの提供
☆令和3年9月追加

- ✓ 認証取得事業者のHPにて、「SDGsの取組み」の一つとして利用するケースが多い
- ✓ 上場企業のような外部評価が一般的ではない、地域の事業者にとっては、サステナビリティに関する一部の情報開示と考えられる



この度、株式会社横浜フリエスポーツクラブおよび一般社団法人横浜 FC スポーツクラブでは、「横浜市 SDGs 認証制度“Y-SDGs”」において第4回認証事業者として【標準】「Standard (スタンダード)」の区分で認証を取得しましたのでお知らせいたします。



2021年6月、横浜市が定める「横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”」の認証を取得。認証区分の中でも、「環境」「社会」「ガバナンス」「地域」の4つの分野30項目において、高いレベルで取り組みを進める事業者と与えられる上位認証事業者“Superior (スーペリア)”の認証を取得いたしました。特に、SDGsの「目標 6：安全な水とトイレを世界中に」と「目標 15：陸の豊かさも守ろう」に対し、高い評価を得ました。

横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”とは
事業者が認証制度を活用しSDGsに取り組むことで、持続可能な経営・運営への転換、新たな顧客や取引先の拡大、さらには、投資家や金融機関がESG投資等の投資判断への活用につなげることを目指す、横浜市が実施する認証制度です。
[横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”](#)

- ✓ 認証取得者の取組みを、Y-SDGs取組紹介シートとして、HPで公開中
- ✓ ベストプラクティスの共有によってこれから申請する事業者等への参考となる



横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs” –
 ヨコハマSDGsデザインセンター
<https://www.yokohama-sdgs.jp/certification/>



Y-SDGs取組紹介シート (認証取得者の取組を御紹介しています。)
 第5版 (2022年6月10日公開)
 【制上刊】 Supreme 認証取得者取組紹介シート
 【制中】 Standard 認証取得者取組紹介シート
 【制下】 Standard 認証取得者取組紹介シート

Y-SDGs supreme 石井造園株式会社



未来に伝える みどりを通じたコミュニティづくり
 その中心にあって 地域の活性化に力を尽くします

平成21年に横浜市が開港150周年を迎えるにあたり環境創造局で企画された150万本植樹行動の企画に賛同し、弊社も推進してきました。横浜市の活動は平成22年3月までで150万本を達成され、その中で弊社は1550本を担うことができました。その後「みどりアップやっつます」に行動は推移していき、弊社もこの活動に賛同する形で、受注した公共工事の現場やイベントなど様々な場所で、苗木を配布させていただきました。現在7,700本まで積み重ねることができました。2030年までに目標は大きく3万本ですが、「ついでに無理なく 達成感のある」の方針で、社員とアイデアを出しながら取り組んでいます。



石井造園株式会社 代表取締役 石井直樹さん

通常は業務で公共工事から個人邸庭園管理等しながら、「ついでに 無理なく 達成感のある」の方針のもとSDGs 担当者として取り組みの企画、推進に携わっています。

SDGs bizサポート補助金事業「ナラ枯れを採そう」プロジェクトチームの一員としてイベントを行いました。参加された皆さんの質問にもしっかり答えられるよう、自分たちも勉強や気づきの場として刺激になります。

担当者：造園部 川口幸治さん

こんなSDGsに取り組んでいます！

地域お客様の逸品をお届けする“カサマルシェ”

会社敷地、社屋を利用して、春と秋年2回開催するカサマルシェ約600名の来場をいただいております。中には開店10分で売り切れる人気商品も。

協働による楽しいコミュニケーションが生まれる仕掛け 空間ワークショップ

JIA（日本建築家協会）の支援企業として、子供たちに向けた空間ワークショップのファシリテーター等お手伝いしています。

みどりを通じて地域を活性化「緑化基金」

・社員の発案で生まれた独自のシステム「緑化基金」
 街の小さな緑化活動を支援します。今までに63団体に授与、中には「菜の花の会」など名所になるほどの継続活動もあります。

今後チャレンジしていきたいこと
 新たなコミュニティ活性化へのチャレンジ

金沢区のあしたタウンプロジェクトに参画、並木ラホに観葉植物ショップ「グリーンシンフォニー」を開店し、ここを拠点として周辺の緑化活動などを通じてコミュニティの一員として活性化を図ってまいります。

石井造園株式会社
 住所：横浜市栄区笠間 4-11-5
 TEL：045-891-1501
 URL：
<http://www.ishii-zouen.co.jp>

✓ 脱炭素やサステナビリティに関するトレンドに基づき、下記の修正を追加した。

ID		内容	詳細	備考（背景や根拠）
YK-S-2	多様な人材の活躍	「取り組みの具体例」の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語対応や、障がい者、高齢者向けバリアフリー設備の設置など、職場環境を整備している。 ・LGBTQへの配慮に関する制度や環境を整備している。 ・多様な人材のための人材育成や教育制度の充実を図っている。 	・多様性、人権意識に関する高まりに応えるもの
YK-S-3	女性の活躍促進	「取り組みの具体例」の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・女性管理職比率の目標を設定している（上場企業は30%以上を評価）。 ・女性の採用比率の目標を設定している。 ・女性の活躍が十分に進んでいる（女性管理職比率・採用率・役員比率50%以上など）ため、あえて目標は設定していない。 	・2021年6月に改訂コーポレートガバナンス・コードが公表され、原則2-4「女性の活躍を含む社内の多様性の確保」が拡充されており、特に上場企業では今後多くの企業が対応を進める。

ID		内容	詳細	備考（背景や根拠）
YK-E-5	天然資源・生物多様性への配慮	「取り組みの具体例」の改善	<p>【現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている ・違法伐採などがない認証ラベルの付いた木材・木材製品を調達している。 ・生物の生息地・希少種の保全・在来種に配慮した事業活動を行っている。 ・植林、森林の適切な維持・管理などを行っている。 ・自然資本・生物多様性への配慮に関する開示を行っている。 	・今後、上場企業に対しては自然資本、生物多様性に関する情報開示が求められる方向性
YK-E-5	天然資源・生物多様性への配慮	「評価項目」の追加	<p>【評価項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 海洋資源の保護・海洋汚染の防止や関する活動に取り組んでいる <p>【取り組みの具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋プラスチック汚染の防止に関する活動 ・海洋護岸保護に関する活動 ・横浜ブルーカーボン・オフセット制度に取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ESG評価の「海洋」に関する注目が高まる ・横浜市でもブルーカーボンオフセット取り組み実施

✓ 脱炭素やサステナビリティに関するトレンドに基づき、下記の修正を追加した。

ID		内容	詳細	備考（背景や根拠）
YK-G-5	事業継続と事業継承	「取り組みの具体例」の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した事業継続計画（BCP）や災害対応マニュアルを策定している。 ・防災・減災対策としての設備の強靱化等を物理的な対策や訓練等を実施している。 ・事業承継に関する検討が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動による異常気象や地震等への備えの必要性の高まり
YK-L-2	横浜市内の地域コミュニティへの配慮	「取り組みの具体例」の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市と連携協定を締結し、具体的な取り組みを開始している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・締結しているだけで活動をしていない先もあるのではないかという懸念から、より実効性のある取り組みのみを評価するべきである。
YK-L-3	横浜における文化・芸術活動の促進	「評価項目」の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜地域において、文化・芸術・スポーツ活動に携わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公益団体ではスポーツに関する団体も多いため。

- ✓ 事業者・団体の認証取得、高評価の獲得に対する関心の高まりを確認できる。
- ✓ 認証の質を確保しながら、認証取得件数の増加にむけ支援を継続中。

ステージ	現状	課題
認証取得前	<ul style="list-style-type: none"> • 市内中小企業団体、商工会議所等からY-SDGsの講演依頼（制度内容、申請の手続き方法など）が多く来ており、注目を集めている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 申請前に問い合わせ（電話、メール）や相談が多く（ほぼ毎日）、対応コストがかかっている
認証取得時		<ul style="list-style-type: none"> • 現在の評価体制・プロセスでは、一度に評価し得る事業者・団体数に制限を設けざるを得ない。
取得認証後	<ul style="list-style-type: none"> • 事業者の問い合わせ対応を1者約1時間程度個別にフォローアップ（希望者に対し）し、課題の明確化を支援している。 • デザインセンターの中小企業ネットワークが構築され、認証取得者同士のマッチングなどにつなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 自社の認証結果を次回評価で向上させたい事業者からの問い合わせが増加し、対応コストがかかっている。

Y-SDGs関連の動向共有

令和4年度の本タスクフォースの活動

質疑応答・意見交換

- ✓ 今年度の金融タスクフォース運営は、個別の金融機関の皆様との具体的な取組みを加速させていきたい。
- ✓ そのため、現在のような全体会合を開催する形ではなく、個別の活動に移行し、年1回程度紙面で進捗状況を全体共有する形でいかがか。

年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年～
Y-SDGs認証	第1-2回	第3-6回	第7-9回 (予定)	
金融タスクフォース		金融TF組成 (全体会合3回)	運営方法 変更	
金融タスクフォース (個別の金融機関との連携)	三井住友銀行での試行的融資	三井住友ファイナンス &リースと商品開発 三井住友海上との 経営サポート	更なる金融機関 との連携促進	
その他		内閣府地方創生 SDGs金融表彰受賞		

- ✓ 他地域でも自治体の設定した、登録認証制度や環境目標と連携した様々な取り組みが見られる

自治体	金融機関	参考事例（*省略して記載）	ポイント
長野県	八十二銀行	<p>八十二銀行「地方創生・SDGs 応援私募債」 以下の私募債資格要件を充足し、かつ以下のいずれかに該当する法人が資金調達。 ①「長野県SDGs推進企業登録制度」の登録、②「ISO14001」認証取得、③「エコアクション21」認証取得</p>	<p>私募債 資格要件 としての活用</p>
同上	上田信用金庫	<p>上田信用金庫「SDGs/ESG サポートローン」 「長野県 SDGs 推進 企業登録制度」に登録している企業、または当庫が独自に用意した SDGs の取り組みのチェックシートにより、取り組みが確認できた企業のSDGs達成に資する取り組みに融資</p>	<p>評価項目の 内容の活用</p>
滋賀県	滋賀銀行	<p>滋賀銀行「『しがぎん』サステナビリティ・リンク・ローンしがCO2ネットゼロプラン」 滋賀県と協定を結び対象を二酸化炭素（CO2）排出削減に絞った、「地域版SLL（サステナビリティリンクローン）」を設定。 環境目標の達成ができた事業者には返済金利を優遇。</p>	<p>脱炭素目標に 絞った活用</p>
埼玉県	埼玉りそな銀行	<p>埼玉りそな銀行「ESG 目標設定特約付融資～Try Now～」 お客さまに把握しやすく行動に移しやすい目標を共に検討し設定。目標設定後は定期的に達成状況の検証を行い、達成した場合には借入金利を優遇。</p>	<p>評価項目の 内容の活用</p>
沖縄県	琉球銀行	<p>りゅうぎんSDGsローン 変動金利1.70% ※おきなわSDGsパートナー登録先は変動金利1.60%</p>	<p>金利優遇の 資格要件 としての活用</p>

- ✓ ヨコハマSDGsデザインセンターにおいても、個別の金融機関の皆様との連携を促進するため、今後、下表のような連携プログラムをご提供可能
 (* 一部有償対応も含む)

	タスク案	デザインセンターの支援内容案	タスクのゴール
タスク1	金融活動との連携検討	<ul style="list-style-type: none"> Y-SDGsを使ったオペレーションの検討 例：「資格要件」なのか「評価項目」まで利用するのか 	Y-SDGs評価付き融資商品の雛型
タスク2	金融機関の顧客企業向け資料への助言	<ul style="list-style-type: none"> 顧客向け提案書作成への助言、表現の確認 	顧客企業向け営業用提案書
タスク3	金融機関内担当者向け研修	<ul style="list-style-type: none"> 金融機関内担当者向けの研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> 「Y-SDGs評価書」「評価項目の視点」に記載する内容に関する研修の実施 	研修の実施、行職員の理解
タスク4	個別案件の実行支援	<ul style="list-style-type: none"> 個別案件の実行をサポートする本部ご担当者（営業企画部）向けの2件程度の支援 	個別案件の実行支援

	ID	分類	評価項目
社会	YK-S-1	安全衛生管理・健康経営	<ul style="list-style-type: none"> ● 職場における安全・衛生管理に取り組んでいる。 ● 健康経営に取り組んでいる
	YK-S-2	多様な人材の活躍	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人、障がい者、高齢者等、社内の多様な人材の活躍支援に関する取り組みがある。 ● 社内のハラスメントを防止するための取り組みを進めている。
	YK-S-3	女性の活躍促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性の活躍支援に向けた目標を設定している。 ● 女性の活躍を支援するための取り組みがある。
	YK-S-4	多様な働き方の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な働き方を促進するための取り組みがある。
	YK-S-5	従業員の人材育成・能力強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 従業員に能力開発、教育訓練の機会や人材育成のための仕組みを提供している。
	YK-S-6	サプライヤーへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ● サプライヤー（取引先）の事業活動や環境・社会への取り組みを理解し、サプライチェーン全体で社会的責任を果たすために取り組んでいる。
	YK-S-7	顧客に対する配慮	<ul style="list-style-type: none"> ● 顧客からの要望を聞き入れ・改善するための体制を整備している。 ● 品質管理に関する取り組みを行っている
	YK-S-8	製品・サービスを通じた社会課題の解決	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品・サービスの提供を通じて社会課題の解決に貢献している。
環境	YK-E-1	環境マネジメント・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境マネジメント体制を構築している。 ● 自社の環境への取り組みを開示している。
	YK-E-2	気候変動(脱炭素)への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 脱炭素に向けた取組を進めている。 ● 脱炭素に向けた再生可能エネルギーの利用を進めている。
	YK-E-3	水の効率的な利用・管理	<ul style="list-style-type: none"> ● 水の効率的な利用・管理を行っている
	YK-E-4	廃棄物・有害化学物質の管理・3Rの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物・有害化学物質を適切に管理している。
	YK-E-5	天然資源・生物多様性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ● 天然資源や生物多様性へ配慮している。
	YK-E-6	製品・サービスを通じた環境問題の解決	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品・サービスの提供を通じて環境問題の改善に貢献している。
ガバナンス	YK-G-1	公正な経済取引	<ul style="list-style-type: none"> ● 公正な経済取引を行っている。
	YK-G-2	情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報セキュリティ対策を行っている
	YK-G-3	企業統治体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業統治体制を構築している。
	YK-G-4	企業の社会的責任	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業によって社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応している。
	YK-G-5	事業継続と事業継承	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業継続や事業継承に関する取り組みが進められている。
地域	YK-L-1	横浜における雇用促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 従業員の1/2以上が横浜市民である（非正規・パートを含む）
	YK-L-2	横浜市内の地域コミュニティへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ● 横浜市と連携し、地域課題解決に向けた取り組みを行っている。 ● 地域社会とのコミュニケーション機会を設けている。
	YK-L-3	横浜における文化・芸術活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 横浜地域において、文化・芸術活動に携わっている。
	YK-L-4	製品・サービスを通じた地域問題の解決	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域経済に資する製品・サービスを提供している。

Y-SDGs関連の動向共有

令和4年度の本タスクフォースの活動

質疑応答・意見交換

ご参加者様より、以下2点についてコメントを頂戴したい

(1) 「Y-SDGs関連の動向」に関するご意見・ご質問

(2) 「Y-SDGs連携」に関するご意見

* なお、本日頂いたご意見・議論内容はこの場限りとし、
非公開といたします